

# 場外馬券売場誘致の請願書、産業建設常任委員会で「採択」されたが

## 本会議で採択されず、推進派に大打撃！

### 産業建設常任委員会

「継続審査」を否決した後、請願書を「採択」す

彦根市議会産業建設常任委員会は12月15日、場外馬券売場の設置を求める請願書を審査しました。  
続いて請願書を採択するかどうかの採決が行われ、四対二で「採択」されました。請願書に賛成した議員

田島茂洋議員（公政会）  
小林武議員（彦政会）

正村嘉規議員（新政ひこね）  
細江正人議員（新政ひこね）

請願書に反対した議員

渡辺史郎議員（彦政会）  
北村収議員（市民コラボ）

### 市議会 本会議

「継続審査」を採択、3月議会に持ち越す

彦根市議会本会議は12月21日、産業建設常任委員会が15日に「採択」した場外馬券売場の設置を求める請願書を審議しました。

大橋和夫議員（彦政会）から「産業建設常任委員会に再付託し継続審査する」との動議が出され採決した結果、賛成多数で「継続審査」が採択されました。

この12月市議会で場外馬券売場誘致の請願書を採択させようとしていた「推進派」

ギャンブル誘致で彦根市は活性化するか？

田島茂洋議員（公政会）は12月議会の本会議と産業建設常任委員会で、21年前に場外馬券売場を誘致した山梨県石和（いさわ）の例を持ち出し、ギャンブル施設のPRに終始しました。

「先進地、石和」を視察した結果、  
「青少年の問題についても全く問題がない」  
「交通渋滞も実際には起こっていない」  
「何ひとつ懸念することはない」

「22年間で毎年平均4千万円から5千万円弱の交付金が入った」  
「合併特例債を使わなくても良いほど財政は良くなった」  
等と、良い事ばかりのようです。

しかし、場外馬券売場の誘致によって、週末の交通渋滞とイメージダウンが広がり、石和温泉ではこの20年間で年間宿泊客数が、41万人も減少したそうです。  
入湯税だけでも年間6千万円以上の減少ですから、これで交付金は帳消しになります。さらに、この間に倒産した旅館、ホテルの法人税、固定資産税、従業員の住民税など莫大な減収も見逃せません。  
『数千万円の交付金に釣られてギャンブル施設を誘致すると、その何十倍、何百倍もの損害をこうむることになる。』  
これが「ギャンブルの先進地」から学ぶべき教訓ではないでしょうか。